

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～7年度入学生用

教科

保健体育科

科目

体育

教科：保健体育科

科目：体育

単位数：3

単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：松崎大河・加藤和輝・平岡里沙・杉山直哉）（Ⅱ部：松崎大河・日野薫平・鮫島朱里・中内果弥）（Ⅲ部 豊島恭昭・鮫島朱里・小林佳朗）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店））

教科 保健体育科

の目標：

- 【知識及び技能】 高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 主として身体に関わる事項について、自らの体力・身体能力を把握することに努める。積極的に活動できるとともに、仲間との協調性を図りながら、具体的な目標を設定し、生涯スポーツに繋げられるように取り組んでいく。自らの課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学が姿勢を身に付けていく。
- 【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすすんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。	主として身体に関わる事項について、自らの体力・身体能力を把握することに努める。積極的に活動できるとともに、仲間との協調性を図りながら、具体的な目標を設定し、生涯スポーツに繋げられるように取り組んでいく。自らの課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学が姿勢を身に付けていく。	それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすすんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 集合整列、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【知識及び技能】 集合整列、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【思考力、判断力、表現力等】 集団行動を理解し、授業にける注意事項を守る 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら意欲的・積極的に活動に	・指導事項 オリエンテーションによる授業 の確認事項 ・教材 プリント、PowerPoint ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】学習に取り組む姿勢について学ぶ（体力テストへの取り組み方、記録用紙への正しい記入） 【思考・判断・表現】自分の体力に気づき、運動に親しむための資質や能力の向上について考えながら学習に取り組む 【主体的に学習に取り組む態度】授業への参加を積極的にに行い、用具の準備や片付けをすすんで行う。ICT機を活用して学びを深めようとする。	○	○	○	6
	B 単元 球技 状況に応じたボールの操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことと他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての協力に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携したゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	16
	定期考査			○	○		0
	E テニス 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保する。	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1台端末の活用 等	E テニス 【知識及び技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保する。	○	○	○	12
2 学 期	定期考査			○	○	○	12
				○	○	○	0
				○	○	○	40
				○	○	○	15
3 学 期	定期考査			○	○	○	16
				○	○	○	合計
							117

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～7年度入学生用

教科

保健体育科

科目

体育

教科：保健体育科

科目：体育

単位数：2

単位

対象学年組：第4学年 1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：松崎大河・加藤和輝・平岡里沙・日野薫平（Ⅱ部：松崎大河・日野薫平・鮫島朱里・平岡里沙）（Ⅲ部 鮫島朱里・小林佳朗）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店））

教科 保健体育科

の目標：

【知識及び技能】

高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

主として身体に関わる事項について、自らの体力、身体能力を把握することに努める。積極的に活動できるとともに、仲間との協調性を図りながら、具体的な目標を設定し、生涯スポーツに繋げられるように取り組んでいく。自らの課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けていく。

【学びに向かう力、人間性等】

それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすすんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。	高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。	それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすすんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元「集合整理、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【知識及び技能】 集合整理、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【思考力、判断力、表現力等】 集団行動を理解し、授業にける注意事項を守る 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら意欲的・積極的に活動に取り組む	・指導事項 オリエンテーションによる授業 の確認事項 ・教材 プリント、PowerPoint ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 学習に取り組む姿勢について学ぶ 体力テストへの取り組み方 記録用紙への正しい記入 【思考・判断・表現】 自分の体力に気づき、運動に親しむための資質や能力の向上について考えながら学習に取り組む 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への参加を積極的にに行い、用具の準備や片付けをすすんで行う。ICT機を活用して学びを深めようとする。	○	○	○	5
	B 選択制体育（バスケットボール・バドミントン・ハンドボール・テニス・サッカー） 【知識・技能】 スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを理解する。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む。	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを理解することができる。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	22
2 学期	C 選択制体育（バレーボール・卓球・アルティメット・ソフトボール） 【知識・技能】 スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを理解する。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む。	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することができる。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	27
	D 選択制体育（バスケットボール・バドミントン・サッカー・テニス・卓球） 【知識・技能】 スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを理解する。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む。	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解すること。スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化すること。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むこと。	○	○	○	24
3 学期							合計
							78

萩窪高等学校 令和4～7年度入学生用

教科 保健体育

科目

教 科：保健体育

科目：保健

单位数：1 单位

対象学年組：第 1 学年 組～ 8 組

教科担当者：（1組～3組：日野薫平 4組～6組：加藤和輝 7組・8組：豊島恭昭）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店）

教科 **保健体育** の目標：

【知識及び技能】 健康の考え方、健康の保持増進と疾病の予防、精神の健康、交通安全、応急手当などについて理解し、自らの行動について考え、生涯を通じた健康についての知識理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 主として身体に関わる事項について、自らの健康について考える。より良く生きていくことについて仲間と共に考えながら、具体的な目標を設定し、生涯の健康について考えられるように学んでいく。自らの健康に関する課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けていく。

【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの個人やsh会における健康課題について、コミュニケーションを図りながら学んでいく。主体的に調べたり、工夫した居rしながら、個人や社会の健康課題について学んでいく。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	自己紹介 身体に関する数字について 1－0' 筋肉と骨について 1－0' 筋肉と水分 1－7 食事と健康	授業を進めるに当たっての諸注意や評価について理解できる。 自分自身の体の構造について興味関心を持って理解できている。 身体に関することを具体的な数字でより深く理解できている。 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができる。	○	○	○	1
	身体をの構造を理解し、保健体育の授業を通じて学ぶことの意味を理解する。 生涯にわたって必要な自分自身、家族、あるいは将来のパートナーの心身の健康について理解を深める。			○	○	○	5
	健康的な生活習慣の必要性を理解し、自分自身のみならず社会の健康について考えていく。	1－8 休養・睡眠と健康 1－6 運動と健康 1－1 健康の考え方と成り立ち 1－2 私たちの健康の姿	現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	健康的な生活習慣の必要性を理解し、自分自身のみならず社会の健康について考えていく。	1－3 生活習慣病の予防と回復 1－1 5 現代の感染症 1－1 6 感染症の予防 1－9 喫煙と健康	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行つてはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。	○	○	○	8
	精神的な健康について考えを深め、人間が持つ欲求とそれに伴った適応機制について学び、自分や他者の精神の健康について学ぶ。	課題作成 CMの制作 PowerPointの活用 1－1 8 健康に関する意思決定・行動選択 欲求と適応機制 1－1 2 精神疾患の特徴 1－1 3 精神疾患の予防 1－4 精神疾患からの回復	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	3 学 期	自らの心身の健康を通じて健康についての理解を深めながら、他者や社会の健康についてより理解を深め、学校生活を通じてより良い健康のあり方を考える。	1－1 8 健康に関する意思決定・行動選択 心の健康と自己実現 3－8 働くことと健康 ※誰もが充実して過ごせる学校生活 PowerPointによる制作と発表	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	○	○	○
	定期考査			○	○		1
							合計
							39

教 科： 保健体育

科 目： 保健

单位数：1 单位

対象学年組：第 2 学年

1 組 ~ 8 組

教科担当者：（１組～３組：杉山直哉　４組～６組：中内果弥　７組・８組：小林佳朗）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 （大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店） ）

教科	保健体育	の目標：
----	------	------

【知識及び技能】 健康の考え方、健康の保持増進と疾病の予防、精神の健康、交通安全、応急手当などについて理解し、自らの行動について考え、生涯を通じた健康についての知識理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】主として身体に関わる事項について、自らの健康について考える。より良く生きていくことについて仲間と共に考えながら、具体的な目標を設定し、生涯の健康について考えられるように学んでいく。自らの健康に関する課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けていく。

【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの個人やsh会における健康課題について、コミュニケーションを図りながら学んでいく。主体的に調べたり、工夫した居rしながら、個人や社会の健康課題について学んでいく。

科目 **保健** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	自己紹介 授業の進め方について 2-1 事故の現状と発生要因 2-2 安全な社会の形成 2-3 交通における安全	授業を進めるに当たっての諸注意や評価について理解できる。 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にできるだけの知識を身につける。 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることが理解できている。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。	○	○	○	1
	我が国における道路交通事故の現状を知り、具体的な事例を適宜取り上げ、事故には、車両の特性、当事者の行動や規範を守る意識、周囲の環境などが関連していることを理解できる。 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状況や車両の特性などを把握すること及び個人の適切な行動が必要であることを理解できる。 ・交通事故には、責任や補償問題が生じることを理解できる。 事故のない安全な社会づくりには、環境の整備が重要であり、特に交通事故を防止するには、法的な整備、施設設備の充実、車両の安全性の向上などの対策が必要であることを理解できる。 必要に応じて、自然災害などによる被害や犯罪被害を防止する社会づくりについても取り上げるよう配慮	2-4 応急手当の意義と其の基本 2-5 日常的な応急手当 2-6 心肺蘇生法	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解している。さらに心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。	○	○	○	5
	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できる。 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度を養うことが必要であることを理解できる。 日常生活で起こる障害や、熱中症などの疾病の類には、それに応じた体の確保、止血、固定などの基本的な応急手当の手順や方法があることを実習を通じて理解できるようにする。 心臓停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用などが必要であることを理解できる。その際、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫などの原理や方法については、実習を通して理解できるようにする。	定期考査	○	○		1	
	2 学 期	思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することについて理解できる。また、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること、及び、性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できる。	3-1 ライフステージと健康 3-2 思春期と健康 3-3 性意識と性行動の選択 3-4 妊娠・出産と健康	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができる。 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることが理解できている。 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できる。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度を意識した行動ができる。 性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解している。	○	○	○
3 学 期	受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響についても理解できるようにする。 結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康への責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子への健康診査の利用などの保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できる。 加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面から理解できる。 中高年期を健康に過ごすためには、若い時から、適正な体重や血圧などに関心をもち、適切な健康習慣を保つこと、定期的に健康診断を受けることなど自己管理をすることが重要であることを理解できる。 生きがいをもつこと、家族や親しい友人と良好な関係を保つこと、地域と交流をもつことなどが重要であることを理解できる。	3-5 避妊法と人工妊娠中絶 3-6 結婚生活と健康 3-7 中高年期の健康 PowerPointによる課題制作と発表	受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることにについて理解できる。 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できる。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子への健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解している。 高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解している。	○	○	○	7
	1,2年保健で学習した内容を踏まえて、課題を見つけて、その課題解決のための方法や手段を考察し、具体的にどのような活動によって自分自身や社会の健康を考えていることができるか、課題制作や発表を通して学ぶ。	PowerPointによる課題制作と発表	1,2年で学習してきた内容に対して自ら課題を見つけ、その課題解決に向けた思考や判断が合理的かつ社会生活に結び付けて考えられているかどうかを発表や課題提出を通じて評価する。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
						39	